

産地生産基盤パワーアップ事業
都道府県事業実施状況報告書兼評価報告書

R6年度報告

都道府県名 兵庫県

I 産地パワーアップ計画（収益性向上タイプ）

1 成果目標

（１）生産コスト又は集出荷・加エコストの10%以上の削減

地域協議 会名	整理 番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標				達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価			
						現状		目標				実績		
						年度		年度					年度	
佐用町地 域農業再 生協議会	13	宝蔵 寺・安 川・米 田	水稻・ 麦・大 豆	効率化・省力化に資する機械の導入	生産コスト の10%以上 の削減	2	131,163円 /10a	5	114,818円 /10a	5	128,337円 /10a	17.3	①本事業の産地については、対象事業者の農地が大半を占め、面積は増加する結果となった。 ②生産コストについては例年増加傾向であり、目標を下回る結果となった。 ③円安や世界情勢の影響により、特に種苗費や農薬費が高騰し続けているため、生産コストが例年増加している。 ④コスト低減のため、使用する農業資材の見直しや病害虫発生予察情報を参照し、防除要否及びタイミングについて適切な判断を行い、今後も価格高騰するであろう農薬費の削減を図る必要がある。	本事業の産地については、対象事業者の農地の大半を占め、面積は増加する結果となった。 種苗費、農薬費が高騰した影響により、生産コストが増加しており、目標を達成できなかった。今後は農業資材の見直しや病害虫発生予察情報を参照し、防除要否及びタイミングについて適切な判断を行い、コスト増大の原因でもある農薬の使用を削減し、コスト低減を図る。

（２）販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議 会名	整理 番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状			目標			実績			地域（県又は国を含む） の価格（販売単価）			補正係数	価格補正後の実績	達成率（％）	地域協議会等の評価	都道府県の評価
						年度	514,993円/10a	R5	771,934円/10a	R5	827,892円/10a	事業実施 前年度	単 位	目標年度								
														単 位	単 位							
淡路市農 業再生協 議会	9	淡路市	たまねぎ	たまねぎ集出荷貯蔵施設整備	単位面積あ たりの販売 額の10%以 上の増加	H30	514,993円/10a	R5	771,934円/10a	R5	827,892円/10a	105	円 /k g	119	円/kg	0.885	807,776円/10a	113.94	経営規模の拡大にあわせ集出荷貯蔵施設の 整備を行い、たまねぎの乾燥・冷蔵による 品質向上に取り組み、販売単価を増加させ ることができた。	集出荷貯蔵施設を整備する ことで、ロスを削減し、秀 品率を大きく向上させた。 経営規模を拡大した上で、 さらに単位面積当たりの販 売額を増加させ、目標を達 成できた。		
丹波篠山 市地域農 業再生協 議会	1	丹波篠山 市	枝豆 （さや 豆）	枝豆収穫、選別機器等の導入	販売額10% 以上増加	30	138,450円/ 10a	R5	170,959円/ 10a	5	111,693円/ 10a	（水稻） 16,013	円 /6 0k g	16,155	円 /60kg	0.991	114,335円/ 10a	-74.2	丹波篠山市では人・農地プラン、地域計画の取り組みが進み、大規模農家への農地集積が進んでいる。本事業では水稻から黒 枝豆への栽培転換による販売額向上を目指し、実際に黒枝豆 の栽培面積は目標値の1.5倍を達成する成果を上げたが、農地集 積への対応のため水稻栽培面積も目標値の1.38倍に達し、さら に栽培も相対的にならざるを得ず、結果として10aあたりの販 売額という目標を達成することが難しい状況にある。目標達成 のためには、地域で農地を守る集落営農への支援を行うほか、 大規模農家が気候変動に対応したきめやかな栽培管理が実施 できるよう黒枝豆の栽培面積向上のネットワークとなっている人手 不足を解消するため、ドローンなどスマート農業技術の導入によ る省力化と収量に影響する開花期の水管理の徹底を重点的に行 う。	水稻、黒枝豆ともに栽培面 積は増えているが、農地集 積による対応に追われ、反 収が伸びず、目標が未達成 となった。		
												（枝豆） 851	円 /k g	781	円/kg	1.090					1.090	
加西市農 業再生協 議会	2	加西市	施設野菜 （トマ ト）	細霧（ミスト）冷房装置の導入	単位面積あた りの販売額の 10%以上の増 加	R2	12,802 千円/10a	R5	14,704 千円/10a	5	15,184 千円/10a	—	円 /k g	—	円/kg	—	15,195千円/10a	125.81	生産量、販売単価ともに実績を確実に伸ばし ており、目標達成に向けて積極的に活動 を進めていると評価する。	収穫時期は細霧冷房（ミスト）装置を導入したこと により、早期化や通年を通じ た安定した生産が可能とな り、その結果販売単価とも に実績を確実に伸ばして目 標達成できた。		
			（アスパラ ガス）									1,095	円/kg	1.072								
加西市農 業再生協 議会	3	加西市	水稻	共同育苗施設の整備	単位面積あた りの販売額の 10%以上の増 加	R2	115,650円/10a	R5	127,229円/10a	5	133,154円/10a	13,804	円 /6 0k g	13,946	円 /60kg	0.990	131,785円/10a	139.3	販売単価向上に向けた取り組みは評価できる 。面積と出荷量の未達については、より 生産者のニーズに合った品種の割合を増や すことで向上を目指すとのことなので、引 き続き目標達成に向けて指導していく。	高単価な品種の割合を高 め、安定した苗を適期に提 供したことで販売額の増加 は達成している。しかし面 積、出荷量はドローン直播 が増加したため目標を達成 していない。ついてはより 生産者のニーズに合う品種 の割合を増やすことで向上 を目指す。		
洲本市地 域農業活 性化協議 会	3	洲本市	たまねぎ	玉ねぎ集出荷施設の整備	単位面積あた りの販売額の 10%以上の増 加	R2	488,000円/10a	R5	542,900円/10a	5	392,471 円/10a	105	円 /k g	119	円/kg	0.882	346,293円/10a	-258.12%	単収、販売単価ともに目標に至らなかった 。単収と秀品率を上げて販売額の増加を目指 す。 生産規模を拡大し、施設の稼働率を向上さ せる。	地域の価格に対して実績の 価格が低く、目標とする反 収（5t/10a）も得られてい ない。目標達成にむけ、① 病害虫防除や肥培管理を徹 底して秀品率を上げる②ポ ストハーベットの管理を適 切に行うことでロス率を減 少させる、等の対策を指導 した。また、計画面積を作 付けし、施設の稼働率を向 上させるよう指導した。		

（３）契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とすること

地域協議 会名	整理 番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標							達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価
						現状		目標		実績				
						年度		年度		年度				
豊岡市 地域農 業再生 協議会	3	豊岡 市、養 父市、 朝来市、 香美町、 新温泉 町	水稻	育苗施設の整備	契約栽培 の割合の 10%以上 の増加か つ50%以 上とする	R2	59.6 %	R5	73.0 %	5	70.6 %	82.1	直接販売の事前契約は、無農薬米等のブランド米をメインに行っているが、今年度は高温や害虫（カメムシ）等の発生で、減収したことで、計画達成には至らなかった。今後は、栽培指導において、高温対策施肥やカメムシの異常発生に対応した防除指導により増収したい。契約栽培の割合の10%以上の増加は達成しており、温湯消毒設備の利用率も高い。 契約取引量に関して、6月頃生産者とJAの出荷契約数量がまとまり、以降に昨年の数量と今年の作付を参考に、大手生協等と数量契約を行っているが、さらに販売数量拡大に向けた営業が必要。今までは9月以降に収穫して数量が分かってきてから販売してきた大手スーパー等の取引先に事前におまかな数量契約を提案するなど新たな営業を試み、取組目標「契約栽培の割合73%」の達成に向けた取組を行うよう指導した。	直接販売の事前契約は、無農薬米等のブランド米をメインに行っているが、今年度減収により、計画達成には至らなかった。今後は、栽培指導において、高温対策施肥やカメムシの異常発生に対応した防除指導により増収を目指す。 契約取引量に関して、現在は大手生協等と数量契約を行っているが、今後は大手スーパー等の取引先に事前におまかな数量契約を提案するなど新たな営業を試み、取組目標「契約栽培の割合73%」の達成に向けた取組を行うよう指導した。□

都道府県 平均達成 率	57	総合 所見	本年度、評価を行う7地区のうち3地区については、いずれも目標を上回り達成することができた。未達成の4地区については、目標を達成できるよう、各地区の課題に応じた指導を行う。
-------------------	----	----------	---